



2011年8月期 第2四半期決算説明会

2011年4月19日

株式会社 **ビックカメラ**
(東証一部:3048)

1. 2011年8月期 第2四半期決算
2. 2011年8月期 通期業績予想
3. 個別施策の取組み状況

1. 2011年8月期 第2四半期決算

決算ハイライト<連結>



	2010年8月期 2Q		2011年8月期 2Q				
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前同比 (%)	計画 (百万円)	計画比 (%)
売上高	298,438	100.0	311,969	100.0	+4.5	313,000	△0.3
売上総利益	72,824	24.4	79,276	25.4	+8.9		
販売費及び一般管理費	66,306	22.2	68,598	22.0	+3.5		
人件費	18,226	6.1	19,076	6.1	+4.7		
ポイント費用	22,253	7.5	22,316	7.2	+0.3		
その他	25,827	8.7	27,205	8.7	+5.3		
営業利益	6,518	2.2	10,678	3.4	+63.8	8,100	+31.8
営業外収益	1,633	0.5	1,859	0.6	+13.9		
営業外費用	6,062	2.0	958	0.3	△84.2		
経常利益	2,089	0.7	11,579	3.7	+454.2	8,800	+31.6
特別利益	394	0.1	5	0.0	△98.7		
特別損失	388	0.1	2,062	0.7	+431.6		
四半期純利益	1,688	0.6	5,162	1.7	+205.7	2,800	+84.4

※計画は2010年10月14日公表分

決算ハイライト<単体>



	2010年8月期 2Q		2011年8月期 2Q				
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前同比 (%)	計画 (百万円)	計画比 (%)
売上高	240,839	100.0	253,573	100.0	+5.3	256,000	△0.9
売上総利益	60,539	25.1	66,442	26.2	+9.8		
販売費及び一般管理費	54,794	22.8	57,334	22.6	+4.6		
人件費	13,757	5.7	14,446	5.7	+5.0		
ポイント費用	20,309	8.4	20,517	8.1	+1.0		
その他	20,728	8.6	22,370	8.8	+7.9		
営業利益	5,745	2.4	9,108	3.6	+58.5	7,200	+26.5
営業外収益	1,585	0.7	2,011	0.8	+26.8		
営業外費用	1,112	0.5	897	0.4	△19.3		
経常利益	6,218	2.6	10,221	4.0	+64.4	7,900	+29.4
特別利益	628	0.3	1	0.0	△99.8		
特別損失	6,080	2.5	1,305	0.5	△78.5		
四半期純利益	632	0.3	4,995	2.0	+690.2	2,600	+92.1

※計画は2010年10月14日公表分

売上高〈連結〉

ビックカメラ

売上高 3,119億円
(前同比+135億円 計画比△10億円)

単体

2,535億円

前同比+127億円

計画比△24億円

◆既存店

前年同期比 100.3%

◆新店

・10年8月期 5店(鹿児島中央駅店、船橋駅店、聖蹟桜ヶ丘駅店、
新宿東口駅前店、相模大野駅店)

・11年8月期 1店(JR八王子駅店)

◆前期比増収に寄与した商品

家電エコポイント商品(テレビ、冷蔵庫、エアコン)
パソコン本体、携帯電話

連単差

583億円

前同比+7億円

計画比+13億円

◆ソフマップは前年同期・計画ともに下回った

◆スマートフォン・タブレットPCの伸長によりボーダレスが好調

◆アウトレット事業を期中に子会社化

営業利益〈連結〉

ビックカメラ

営業利益 106億円
(前同比+41億円 計画比+25億円)

単体

91億円

前同比+33億円

計画比+19億円

◆増収 前同比 127億円増収

◆売上総利益率改善 前同比 1.1ポイント改善

- ・品目別売上高の構成変化
- ・取引条件の改善
- ・V-Link等による商品在庫の適正化

◆販管費率改善 前同比 0.2ポイント改善

- ・経費のコントロール
- ・効果的なポイント付与

連単差

15億円

前同比+7億円

計画比+6億円

◆ソフマップは減収も効率改善に努め増益

◆日本BS放送収益改善

経常利益・四半期純利益<連結>

経常利益 115億円
(前同比+94億円 計画比+27億円)

単体 102億円 (前同比+40億円 計画比+23億円)

四半期純利益 51億円
(前同比+34億円 計画比+23億円)

単体 49億円 (前同比+43億円 計画比+23億円)

◆営業外収益

持分法による投資利益を計上
(175百万円)

前年同期は、ベスト電器の事業再構築に伴う損失として、持分法による投資損失 48億円を計上

同社の業績改善により今期反転

◆特別損失

資産除去債務に伴う影響額を計上
(1,655百万円)

主要子会社〈株式会社ソフマップ〉



	2010年8月期2Q		2011年8月期 2Q					
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前同比 (%)	前同期差異 (百万円)	計画 (百万円)	計画差異 (百万円)
売上高	46,526	100.0	42,918	100.0	△7.8	△3,608	46,027	△3,109
営業利益	△41	△0.1	270	0.6	—	+312	318	△48
経常利益	111	0.2	317	0.7	+184.0	+205	367	△50
四半期純利益	145	0.3	△167	△0.4	—	△313	△97	△70

◆売上高

新品のパソコン周辺機器・ソフト、中古商品の苦戦
(家電エコポイント商品の売上構成が低くプラス要因に乏しかった)

◆営業利益

- ・売上総利益率 新品・中古商品共に売上総利益率が改善
- ・販管費率 減収となったものの経費コントロールにより前年同期並み

⇒営業黒字化

◆四半期純利益

資産除去債務に伴う影響額 379百万円 他特別損失を計上

主要子会社〈日本BS放送株式会社〉




	2010年8月期2Q		2011年8月期 2Q					
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前同比 (%)	前同期差異 (百万円)	計画 (百万円)	計画差異 (百万円)
売 上 高	1,715	100.0	2,143	100.0	+25.0	+428	1,995	+148
営 業 利 益	31	1.9	242	11.3	+658.2	+210	70	+172
経 常 利 益	△20	△1.2	195	9.1	—	+215	16	+179
四半期純利益	△18	△1.1	193	9.0	—	+211	14	+179

◆売上高

- ・BS放送受像機の普及拡大
- ・認知度の向上
- ・安定、継続的な広告収入が狙える番組の配信

⇒広告収入の増加

◆営業利益

増収効果に加え番組制作コスト見直したこともあり前期より黒字幅が拡大

貸借対照表<連結>

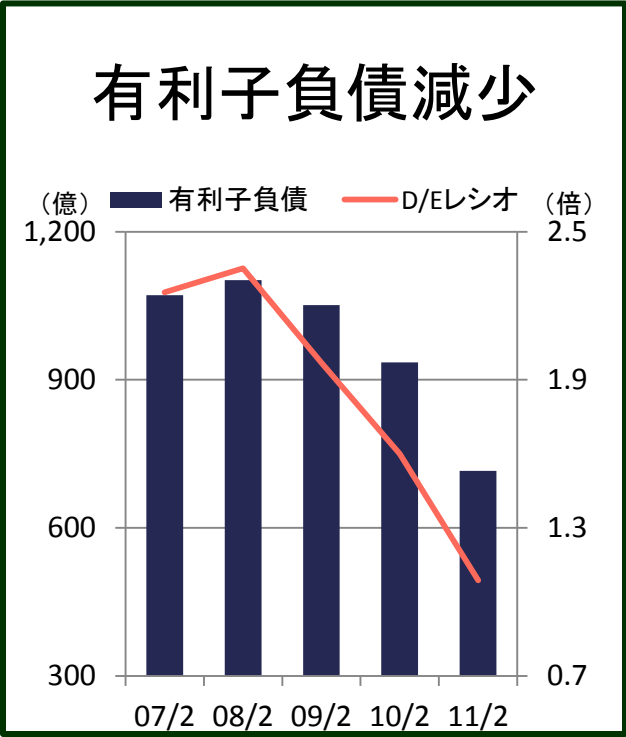


(単位:百万円)		10年8月期2Q	11年8月期2Q	増減
流動資産	現金及び預金	26,504	19,863	△6,640
	受取手形及び売掛金	18,958	17,135	△1,823
	商品及び製品	40,215	41,078	+863
	その他	21,671	19,432	△2,238
	流動資産合計	107,349	97,510	△9,838
固定資産	有形固定資産	62,329	61,559	△769
	無形固定資産	15,055	14,576	△479
	投資その他の資産	42,928	44,090	+1,161
	固定資産合計	120,313	120,225	△87
繰延資産		124	79	△45
資産合計		227,787	217,815	△9,971
流動負債	買掛金	37,850	34,595	△3,255
	短期借入金	39,403	24,391	△15,012
	1年内返済予定の長期借入金	17,183	15,470	△1,713
	1年内償還予定の社債	1,290	1,100	△190
	ポイント引当金	13,261	13,350	+89
	その他	16,406	19,602	+3,196
	流動負債合計	125,394	108,510	△16,884
固定負債	社債	3,600	3,130	△470
	長期借入金	32,068	27,486	△4,582
	その他	7,608	12,087	+4,478
	固定負債合計	43,277	42,703	△574
負債合計		168,672	151,213	△17,458
純資産合計		59,115	66,601	+7,486
負債・純資産合計		227,787	217,815	△9,971

在庫回転率の改善

前同比+0.5回(半期ベース)

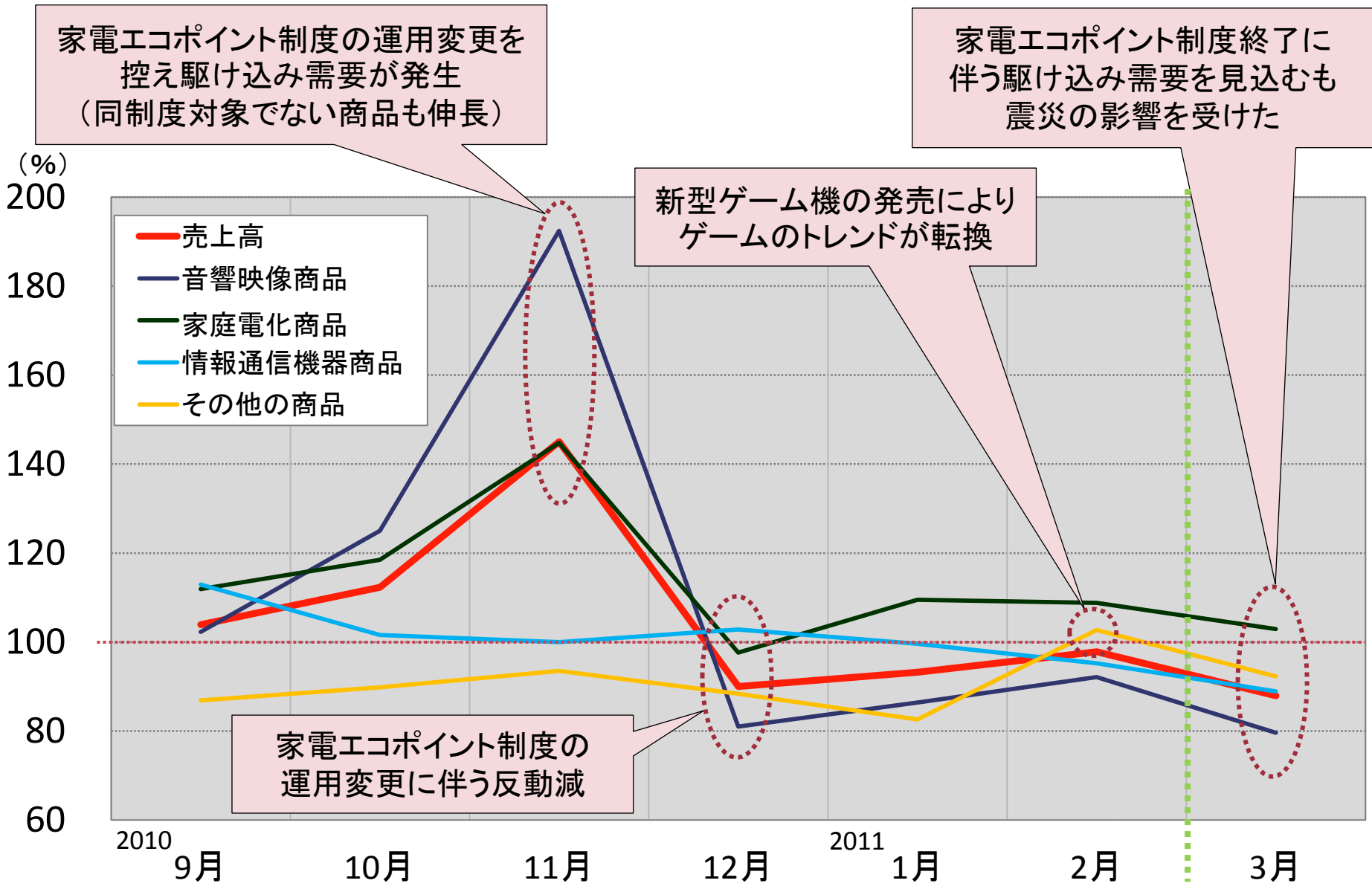
※11月 JR八王子駅店 開店
(前年同期比較では4.5%の増収に対し、
商品及び製品は2.1%の増加にとどまる)



品目別売上高<連結>

	2010年8月期 2Q		2011年8月期 2Q			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前同比 (%)	前同期差異 (百万円)
音 響 映 像 商 品	98,101	32.9	107,815	34.6	+9.9	+9,714
カメラ	20,845	7.0	20,395	6.5	△ 2.2	△ 449
テレビ	37,167	12.5	48,373	15.5	+30.2	+11,206
レコーダー・ビデオカメラ	15,350	5.1	16,035	5.2	+4.5	+684
オーディオ	12,201	4.1	10,602	3.4	△ 13.1	△ 1,598
AVソフト	4,696	1.6	4,586	1.5	△ 2.3	△ 110
その他	7,840	2.6	7,822	2.5	△ 0.2	△ 18
家 庭 電 化 商 品	39,950	13.4	45,751	14.7	+14.5	+5,800
冷蔵庫	6,122	2.1	7,003	2.2	+14.4	+880
洗濯機	4,859	1.6	4,986	1.6	+2.6	+127
調理家電	5,690	1.9	6,138	2.0	+7.9	+447
季節家電(エアコン含)	6,636	2.2	9,216	3.0	+38.9	+2,580
理美容家電	9,016	3.0	9,785	3.1	+8.5	+768
その他	7,625	2.6	8,620	2.8	+13.1	+995
情 報 通 信 機 器 商 品	95,428	32.0	97,392	31.2	+2.1	+1,963
パソコン本体	26,062	8.7	29,475	9.5	+13.1	+3,413
パソコン周辺機器	16,149	5.4	13,715	4.4	△ 15.1	△ 2,434
パソコンソフト	9,274	3.1	7,794	2.5	△ 16.0	△ 1,479
携帯電話	26,166	8.8	29,438	9.4	+12.5	+3,271
その他	17,774	6.0	16,967	5.4	△ 4.5	△ 807
そ の 他 の 商 品	62,846	21.0	58,356	18.6	△ 7.1	△ 4,490
ゲーム	23,495	7.9	18,293	5.8	△ 22.1	△ 5,201
その他	39,350	13.1	40,062	12.8	+1.8	+711
物 品 販 売 事 業	296,327	99.3	309,315	99.1	+4.4	+12,987
そ の 他 の 事 業	2,110	0.7	2,654	0.9	+25.8	+543
合 計	298,438	100.0	311,969	100.0	+4.5	+13,531

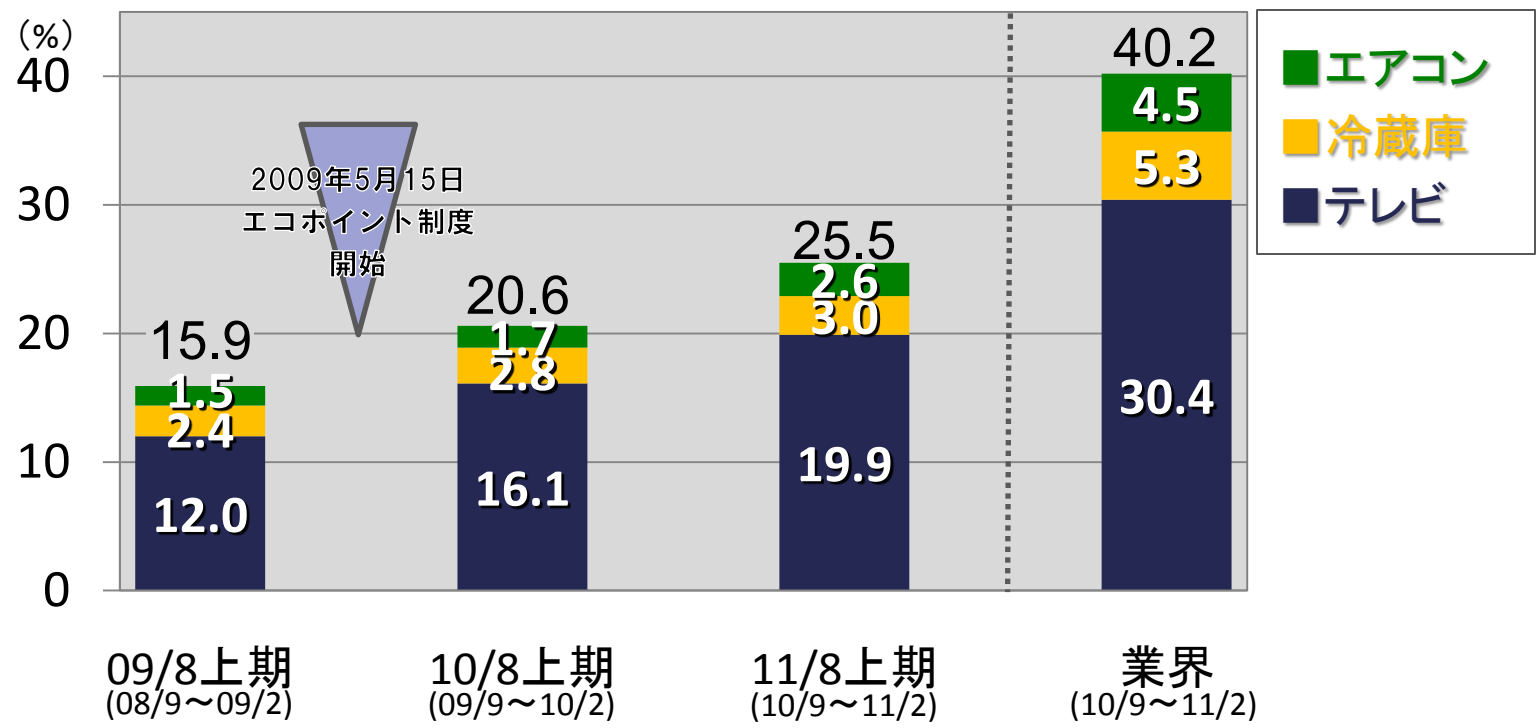
月次売上高の推移<単体全店:POSベース>



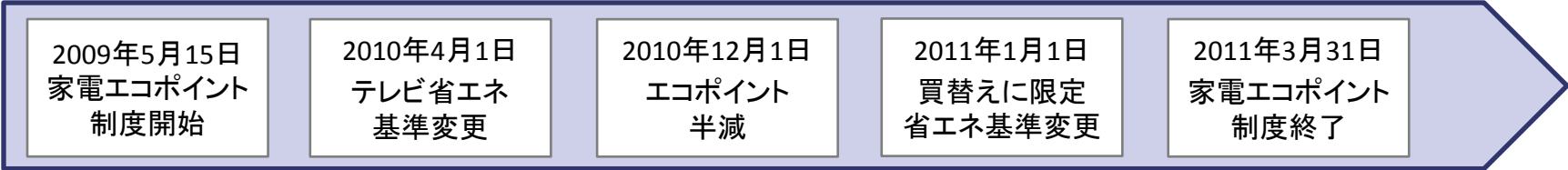
家電エコポイント制度の影響<単体全店:POSベース>



売上構成の変化



家電エコポイント制度内容の変化



開店した新店〈単体〉



JR八王子駅店

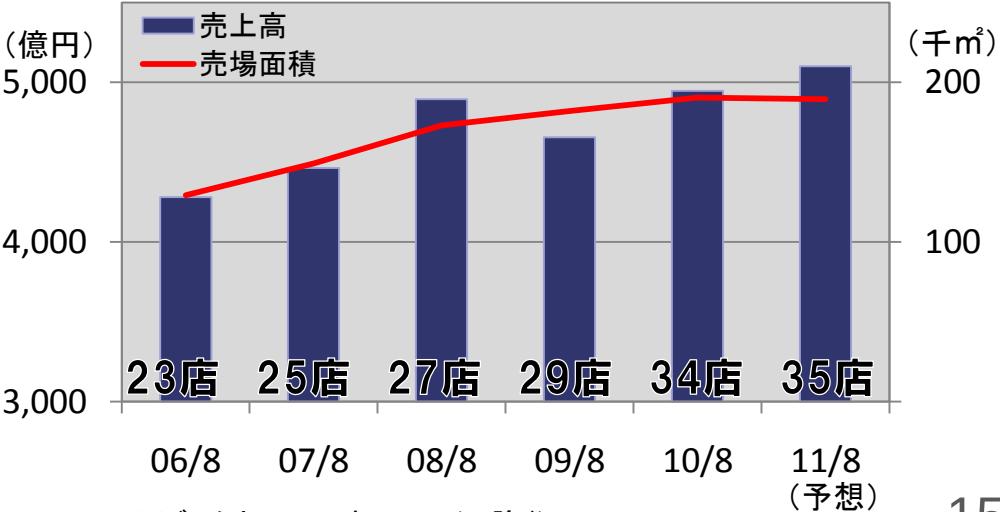
2010年11月11日開店

開店月より営業黒字化

- ・JR八王子駅に直結
- ・面積 約8,000m²



売上高(単体)・売場面積・店舗数の推移



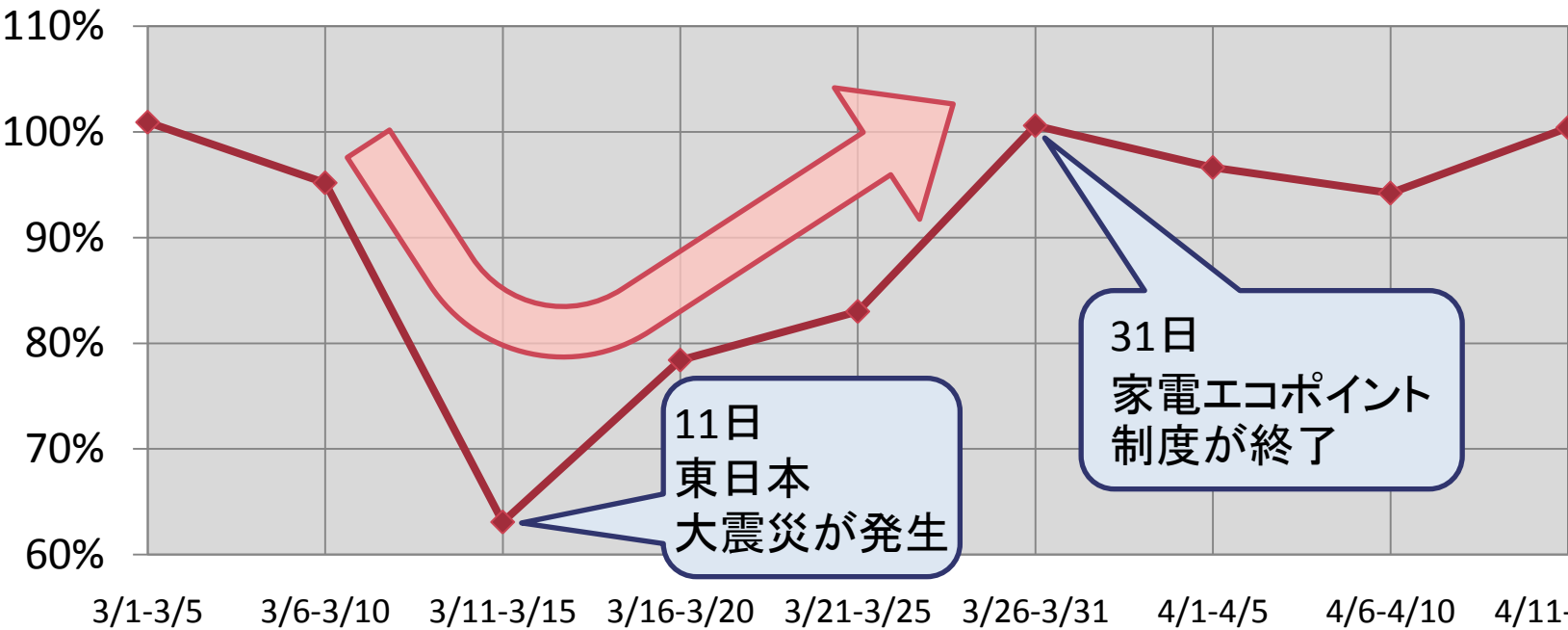
※ビックカメラ、アウトレット(FC除く)

2. 2011年8月期 通期業績予想

東日本大震災の影響



3月以降の売上高推移〈単体全店:POSベース〉



テレビ	98%	62%	100%	103%
エアコン	114%	77%	139%	138%
冷蔵庫	90%	69%	111%	101%
パソコン	91%	77%	97%	100%

※前年と同曜日での比較

業績予想



期初業績予想を据え置く

連 結	2010年8月期		2011年8月期			
	実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)
売 上 高	608,274	100.0	622,000	100.0	+2.3	+13,726
営 業 利 益	14,764	2.4	15,600	2.5	+5.7	+836
経 常 利 益	11,759	1.9	17,600	2.8	+49.7	+5,841
当期純利益	5,965	1.0	7,500	1.2	+25.7	+1,535

単 体	2010年8月期		2011年8月期			
	実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)
売 上 高	494,766	100.0	510,000	100.0	+3.1	+15,234
営 業 利 益	13,250	2.7	13,500	2.6	+1.9	+250
経 常 利 益	14,762	3.0	15,000	2.9	+1.6	+238
当期純利益	4,085	0.8	6,000	1.2	+46.9	+1,915

新規出店〈単体〉・設備投資〈連結〉

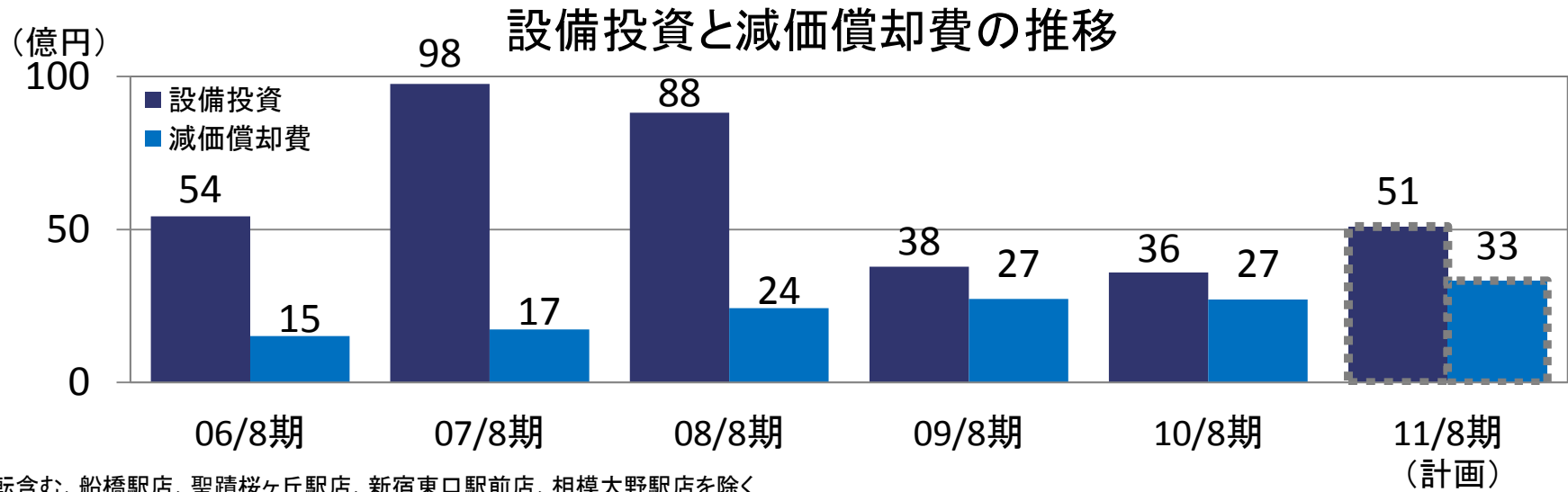


水戸店(仮称)

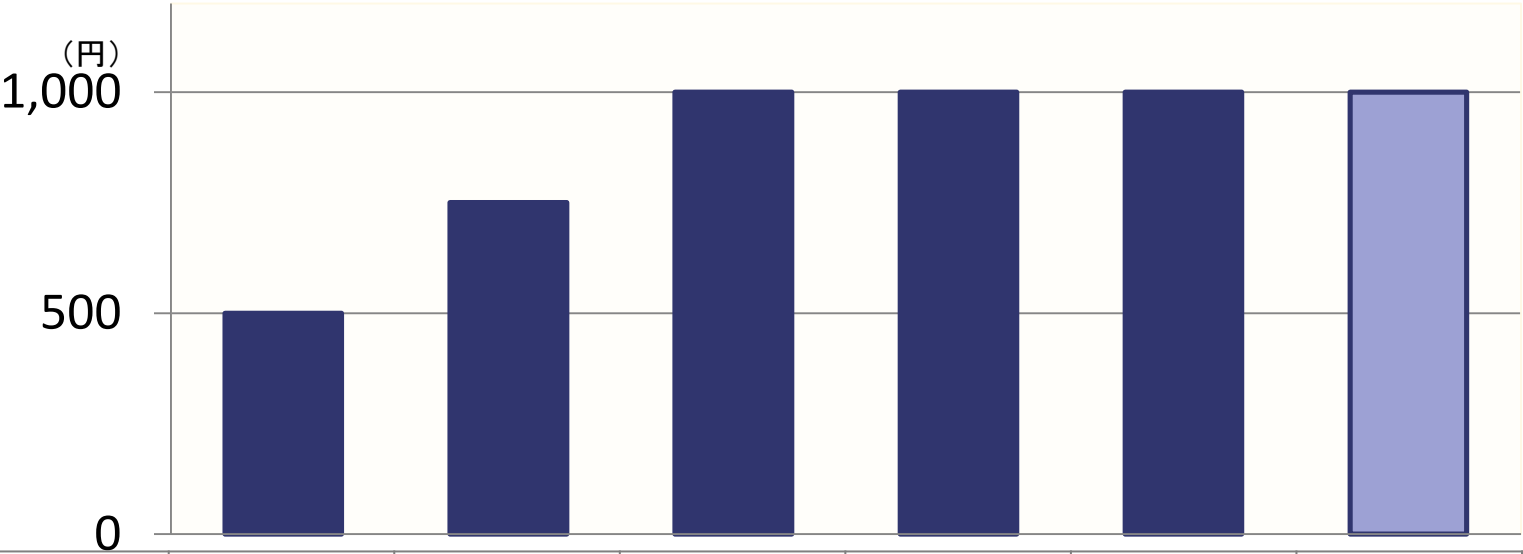
- ・水戸駅(茨城県)に直結
(6店舗連続のJR関連施設への出店※)
- ・面積 約5,000m²
- ・震災の影響を受け開店を延期
現在未定(今期中の開店予定)



※イメージ



配当金



決算年月	2006年 8月期	2007年 8月期	2008年 8月期	2009年 8月期	2010年 8月期	2011年 8月期計画
1株あたり配当額 (円)	500	750	1,000	1,000	1,000	1,000
配当性向 (%)	10.4	15.6	—	32.9	28.5	22.9
純資産配当率 (%)	2.7	2.5	2.1	3.0	2.8	—

※2006年8月期および2007年8月期は株式分割後のベースに戻して計算

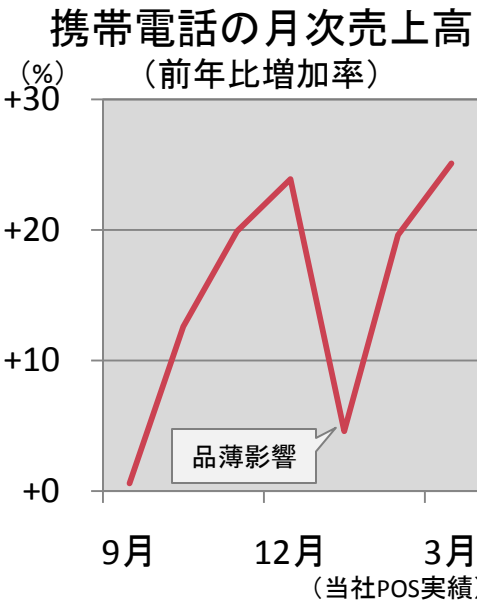
3. 個別施策の取組み状況

家電エコポイント制度終了後の取り組み

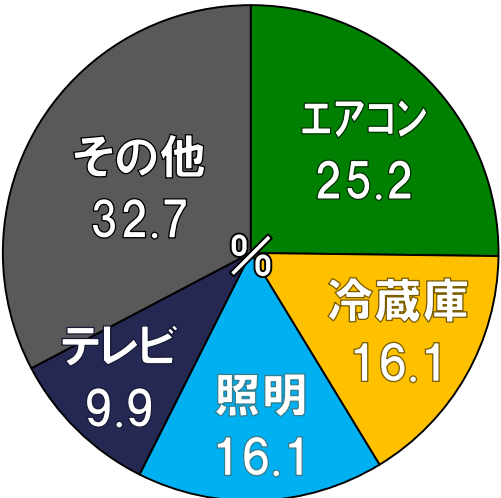


スマートフォンの拡大

- ・都市型の当社が強み
 - ・アクセサリーの豊富な品揃えで他社との差別化
- ⇒ 当社の強みを生かした商品展開



家庭の機器別消費電力の構成



出所 資源エネルギー庁

節電家電への取り組み



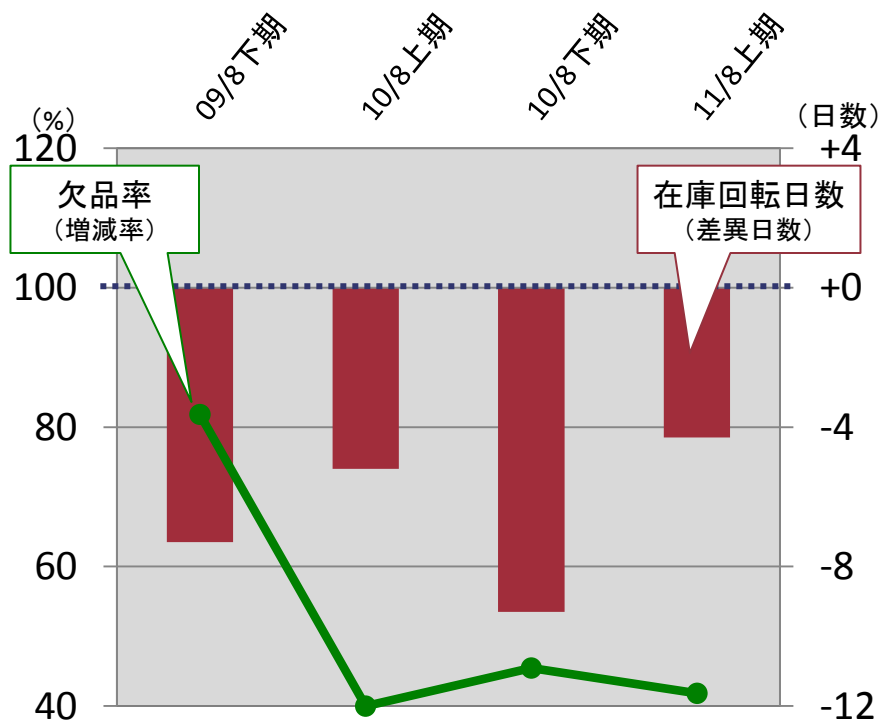
節電相談カウンターの設置
⇒ 節電ニーズへのきめ細やかな対応

ビックカメラV-Link(商品需要予測補充システム)

商品管理精度の向上に寄与

V-Link導入後の対象商品の実績

欠品率 2009年8月期上期を100としたときの増減率
在庫回転日数 2009年8月期上期の在庫回転日数との差異日数



欠品率・在庫回転日数⇒低下

◆導入後の状況

導入当初より売上が増加する中
在庫金額・欠品率は減少

◆成果

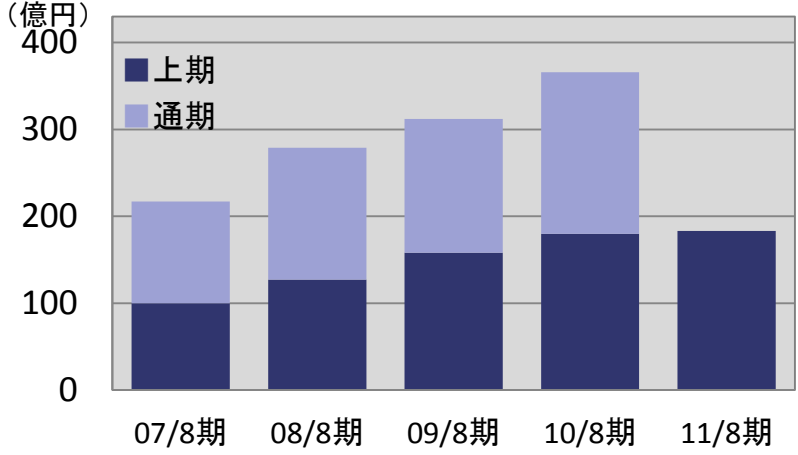
- ・在庫回転日数の減少
⇒適時適切な発注による適正在庫の維持
- ・欠品率の低下
⇒売上機会逸失の低下

通信販売チャネル(インターネットショッピング・TV通販)



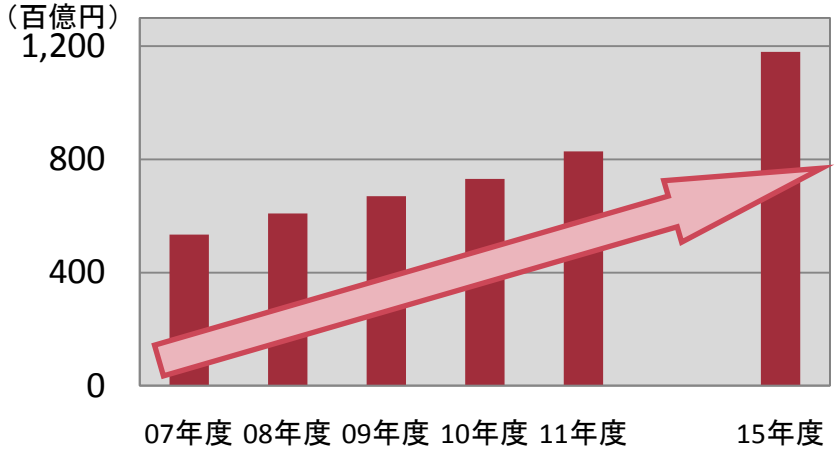
成長トレンドは不変

当社通信販売売上高推移



ビックカメラ.com

国内ネットビジネス市場予測 (BtoC)



ソフマップ.com

※出所 経済産業省、野村総合研究所

ビックカメラグループの顧客囲い込み

顧客ロイヤリティを高めるポイント+クレジットカード

ビックカメラ Suicaカード



- ・主に東日本で発行するJR東日本とのコラボカード
- ・高率ポイント+高い利便性で、総発行枚数は既に61万枚を突破
- ・全国の多くの交通網や商業施設で利用できる電子マネーのSuicaを搭載

ビックカメラ J-WESTカード



- ・主に西日本で発行するJR西日本とのコラボカード
- ・ビックポイントのJRポイントへの交換や新幹線のネット予約が可能

ソフマップ プレミアムCLUBカード



- ・2011年4月1日よりソフマップで発行開始
- ・ソフマップ独自のサービス機能を提供

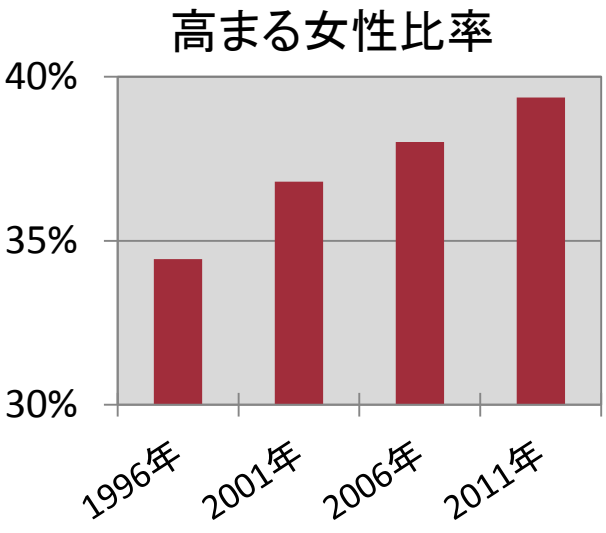
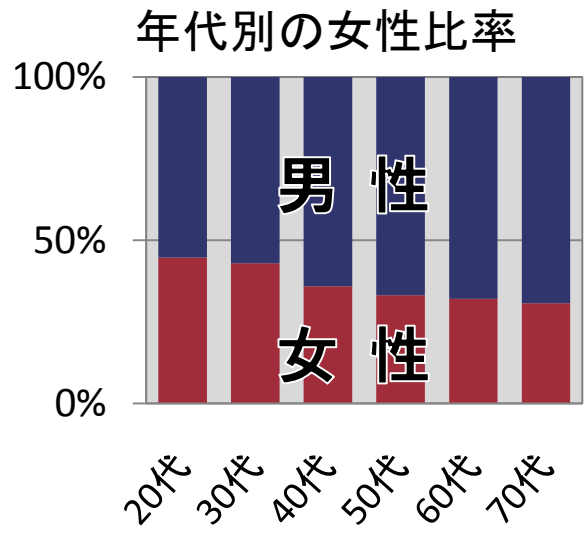
女性マーケットへの浸透



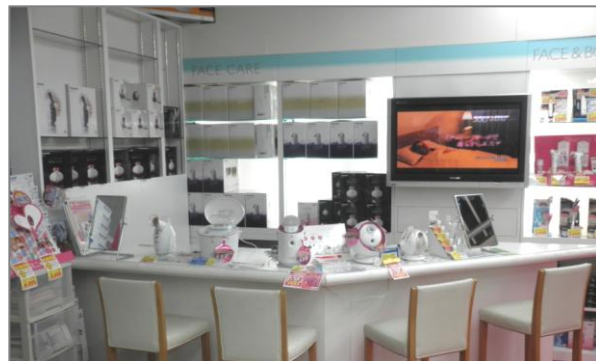
売場の転換

- ◆新規需要の獲得
男性向け商品を女性に訴求
- ◆既存需要の拡大
 - ・理美容器具、調理器具の体験コーナー
 - ・女性による女性のための販売員の育成

⇒女性層の一層の開拓



2010年12月18日に女性をターゲットとしたDPE・カメラ用品店「BIC PHOTO」をオープン



理美容品体験コーナー

※出所 当社ポイントカード

アウトレットへの進出

加速するアウトレットの成長

アウトレット専用商品の拡大

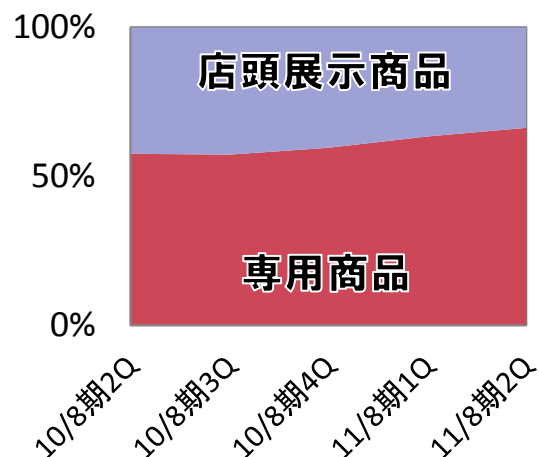
ー 仕入ルートの拡大により多量の商品確保が可能となった ー

⇒専用商品の構成増加による新たな展開

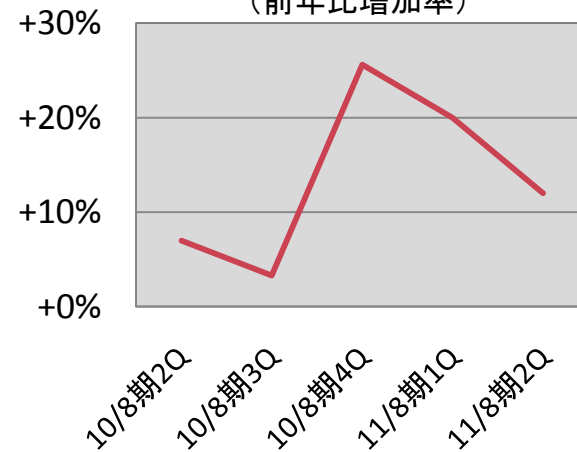


通常店舗とは異なるアウトレット独自の商品展開

増加する専用商品の割合



好調なアウトレット売上 (前年比増加率)



本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくはまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2011年4月19日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2011年4月19日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2011年4月

株式会社ビックカメラ